

# きこえとことばの教室通信 臨時号2

令和2年4月27日

外出自粛が長く続き、お子さんたちは、お友達とも会えない不安が高まっている頃でしょうか。

きこえとことばの教室に通っているお子さんの中でも、吃音があるお子さんは、性質的に不安を強く感じやすいお子さんが多いかもしれません。確かに、ウイルスには対策を立てなければなりません。今は、まだ、ここが終わり！とは誰も断言できないのですが、必ずこの今の非日常の生活の終わりはやってきます。お子さんの不安に耳を傾けて、「そうだよね、不安だよな。」と共感してあげてくださいね。

さて、今週は吃音特集です。吃音のグループ指導でよくやっている吃音クイズを紹介します。もうこのクイズは、何回もやってわからないことはない！というお子さんもしれば、初めて見た！というお子さんもいるかもしれません。改めて、吃音のことを正しく知ること、吃音を必要以上に恐れず、正しく理解しましょう。保護者の方向けに、3枚目に新聞の抜粋記事を載せました。是非ご覧ください。



きゅうこうちゅう

## 休校中にやってみよう！

### きつおん 吃音クイズ



吃音きつおんについては、まちがった おも思いこみや めいしん迷信(むかしから つた伝えられる  
まちがったこと)も おおいおおいのじゃ。吃音きつおんについて ただ正しく し知ることが  
たいせつじゃ。

## ○か×かでこたえよう！

だい1もん！



にほん人は、ほかのくにの  
ひと人よりも きつおん吃音の  
あるひとが おおい多い。

だい2もん！



きつおん吃音があるひとは  
100人に ひとひとぐらい いるといると  
かんがえられている。

だい3もん！



だれかと いっしょいっしょに こえこえを  
だすと  
きつおん吃音は ででにくい。

だい4もん！



うたを うたううたう ときときに  
きつおん吃音が ででることは  
すくないすくない。

だい5もん！



きつおん吃音があるひとは  
おおぜいおおぜいの ひとひとの まえまえで  
はっぴょうするときや、  
でんわをかけるときには  
かならず きつおん吃音でる。

だい6もん！



どんぐりを たべるとたべると  
きつおん吃音が ふえるふえる。

# こたえ！！

だい1もん こたえ **×**



きつおんが あるひとは せかいじゅう どのちいきでも いるのじゃ。きつおんの あるひとは にほんにも アメリカにも ちゅうごくにも インドにも アフリカにも おなじくらい いるのじゃよ。



だい2もん こたえ **○**



きつおんが あるひとは、100にんに ひとぐらい いる(やく1パーセント)と いられているのじゃよ。にほんだけでも 12000にんぐらいいるのじゃ！

だい3もん こたえ **○**



きつおんは、からだの うごきと おとを だす タイミングが なにかしら の げんいで うまく いかないと かんがえられているのじゃ。だから、こえを だす タイミングを だれかと いっしょに あわせると なめらかに しやすいのじゃよ。

これから  
あさのかい  
を...

これから  
あさのかい  
を...



だい4もん こたえ **○**



タイミングを うまく あわせられると しやすい。うたも それと いっしょで こえが しやすいのじゃ。



だい5もん こたえ **×**



たしかに きつおんの人は おおぜいの 人の まえで はっぴょうするときや でんわを かけるときに きつおんが しやすい ひとが おおい。しかし、きつおんが あるひとが かならず そうとは かぎらないのじゃ。なかには、おおぜいの 人の まえで はっぴょうするほうが きつおんが でにくい ひとも いるのじゃ。それぞれなのじゃよ。

だい6もん こたえ **×**



なにかを したから きつおんが できる ということはない。だれかに うつる ということも ない。もちろん きみじんの せいでもない！ だれの せいでもないのじゃ。

ぜんもん せいかい できたかな？ たいせつなのは、「じゃあ、どうしようか」ということじゃ。きこえとことばのせんせいや たんにんの せんせいと こまっていることを どうしたらよいか どんどん そうだん していくことじゃよ。がっこうが はじまると、どうしたらよいか わからないことも でてくるじゃろう。せんせいや グループの みんなと いっしょに かんがえよう！



連載:吃音～きつおん～リアル（14）

「原因は緊張しているから」は誤解 菊池良和（九州大病院・吃音外来医師）

3歳頃から吃音（きつおん）が始まった男の子（5）。母親は幼稚園から「1人で話す時に緊張するようで、よく言葉を繰り返していました」「今日は緊張していなかったみたいで、あまりつかからなかった」といった報告を受けていました。

インターネットにも「吃音は緊張、ストレスから生じることもある」と書いてあり、母親は思い当たることがあったそうです。ほとんど叱らない父親に比べ、母親は食事や着替え、片付けなどいろいろな場面でよく注意していました。しかも、母親に話し掛ける時だけ「あ、あ、あ、あのね」「お————かあさん」となることが多かったのです。

「私が怖いから緊張しているのかな。息子に申し訳ない」。母親は優しく接するよう心掛けていますが、幼稚園の報告と家庭での様子はやはり異なり、母親の前では症状が目立ちました。「これ以上、どうしたらいいの」と、だんだん自信を失っていきました。

「吃音の原因は緊張」と誤解している人が多いのですが、あくまでも話し始めのタイミング障害です。例えば合唱など、複数で声を合わせる際は症状が出ないという特徴があります。1人だと話し始めるタイミングが合わないけれど、他の人に合わせるとすらすらと言葉が出るのです。

幼稚園の先生が園での様子だけを見て原因を誤解して接したことで、母親は困惑してしまいました。ですが、むしろ家庭ではリラックスして、自分が話したいことを思いついたタイミングで話そうとするから、吃音もたくさん出るのです。こう説明すると、悩んでいた母親は納得し、安心してくれました。

このケースは、保護者が最初に相談する幼稚園や保育所、小学校の先生たちに知っておいてほしい事例です。保護者が自らの子育てに自信を持てるよう、支えてもらえればと思います。